集まる声が農業の未来をつくる

農業関係者が集まる 令和版営農会議

現場からのこんな声が…

国や県の事業を活用し、土地改良など農業の基盤整備を進めてきた津市。
一方で、既存の支援だけでは届かない、現場ならではの課題もあります。

「令和版営農会議」とは…

農業者や地域、JA、農業委員会、市など関係者が一堂に会し、地域の農地や農業の課題を共有。支援策や地域の取り組みにつなげています。





担い手の減少・高齢化

後継者がいなくてこの先どうなるか不安です。



鳥獣害・病虫害被害の深刻化

ジャンボタニシやカラスの被害が増えています。



機械が壊れても買い換えられない

修繕費が高くて、農業を続けるのが大変です。



農業を始めたいけど、何から始めたら…

相談できる人や情報が少なくて一歩踏み出せません。

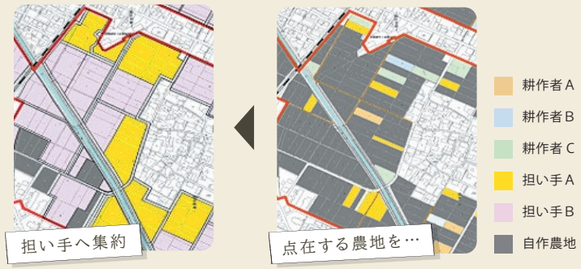
だから津市では―― 現場の声に応える支援をしています

- 持続的な営農体制の強化
- 獣害・虫害から農地を守る
- 耕作放棄の防止

農業の未来を描く 地域計画の策定

10年後の農地の使い方や担い手を定める「地域計画」を策定しています。将来も農地を守っていくためには「誰が、どの農地を耕作するのか」など、農地の将来像を明確にしておくことが大切です。津市では、地域で話し合い、将来の農地を担う人を明らかにし、農地を担い手へ集めていくための取り組みを進めています。

地域計画で明確化された将来イメージ



現場の声から生まれた 津市独自の支援

令和版営農会議で寄せられた声を受け、３つのテーマで津市独自の営農継続支援事業を実施しています。

耕作放棄の防止

小さな田んぼを使いやすい農地へ



条件不利な農地の借り受け支援

狭い・不整形など耕作条件が悪い農地を借り受けた人に奨励金を交付

NEW 農作業機械の修繕を新たに支援！

農業所得400万円未満の小規模農業者へ、修繕費等の半額(上限10万円)を補助

対象要件を確認の上、来年２月末までに申請書類を農林水産政策課または各総合支所地域振興課へ

持続的な営農体制の強化

法人化や人材雇用の促進



小規模機械の導入支援



新規就農者の声

２年半前、教師をしながら１畝の畑から始め、今では年間約20種類の野菜を育てています。小規模機械の導入支援や市の開催する市民農業塾で生まれた縁も力になっています。



アグリピア 平山さん

獣害・虫害から農地を守る

ジャンボタニシの被害対策 薬剤の購入費補助



カラスの被害対策 捕獲報奨金を交付



津の恵みを津で味わう 津産津消

津の農業者が心を込めて育てた野菜や果物、コメなど。こうした恵みを津で買い、津で味わうことが、津の農業を支える力になります。

津の恵みを「知る」

「農林水産まつり」や「つ乃めぐみ料理体験教室」など、津の豊かな農林水産物の魅力を見て、味わって、楽しめるイベントを開催しています。





津の恵みを「買える」「食べられる」

津市産の食材を使った料理や商品を提供・販売する「津産津消推進店」。お店を訪れる人に、津で育まれた食材のおいしさと、津の「食」と「農」の魅力を届けています。